

# 一ツ橋情報学研究所(HII)

設定:

一ツ橋情報学研究所(設立2000年)

10周年記念事業のコンペティション

主な研究分野:

情報学

構成員:

200名(研究員50;院生100;事務50)



HII10周年記念事業コンペ

# Bridge (ブリッジ)

「研究者・社会・情報をつなぐ」

2009年9月11日

図書館



# アウトライン

- コンセプト
- 機関リポジトリとは？
- IRコンテンツ
- 構築のメリット
- 運営体制
- 初期予算
- スケジュール



# コンセプト

研究者・社会・情報をつなぐ

創立10周年を迎えるにあたり  
成果の蓄積を一元的に

世界に発信

⇒機関りポジトリ(Bridge)



# 機関リポジトリとは？

- 機関リポジトリとは

- 自機関の研究成果等、知的生産物を電子的形態で集積し保存・公開するために設置する電子アーカイブシステム

- 利点

- オープンアクセス、インターネットからのアクセス経路増強（Google等検索エンジンの他、外部検索サイトからのハーベスティング）
- 認知度向上、引用増加...

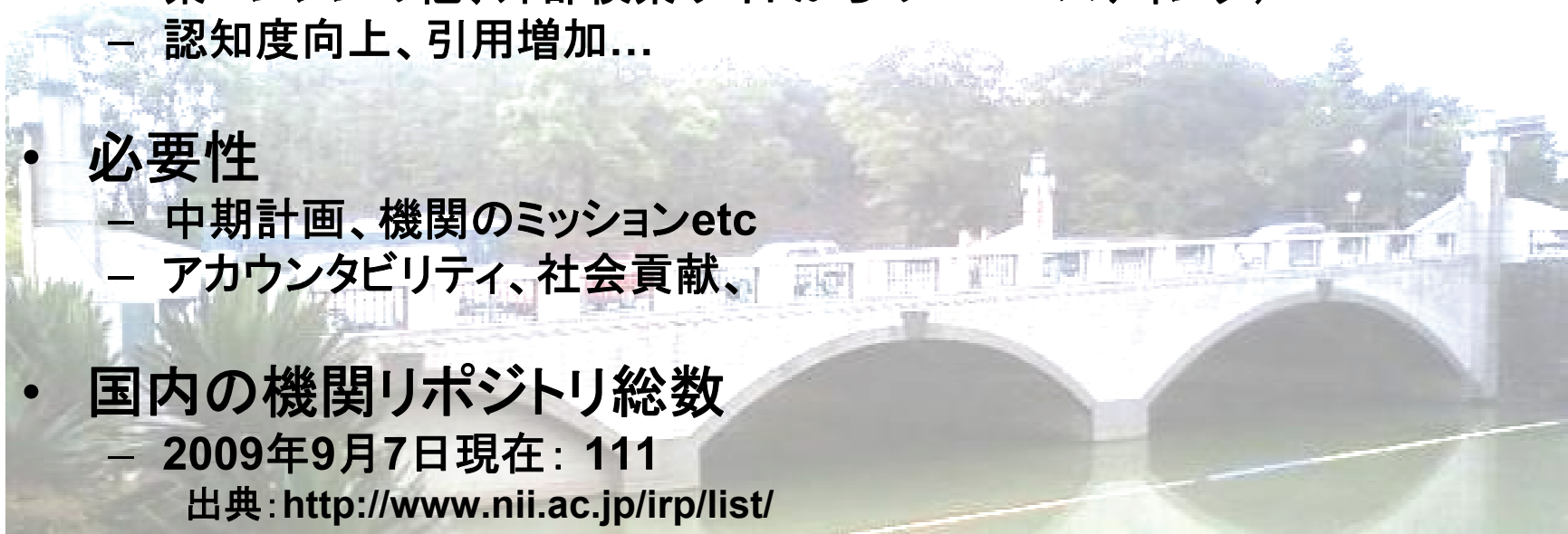
- 必要性

- 中期計画、機関のミッションetc
- アカウンタビリティ、社会貢献、

- 国内の機関リポジトリ総数

- 2009年9月7日現在：111

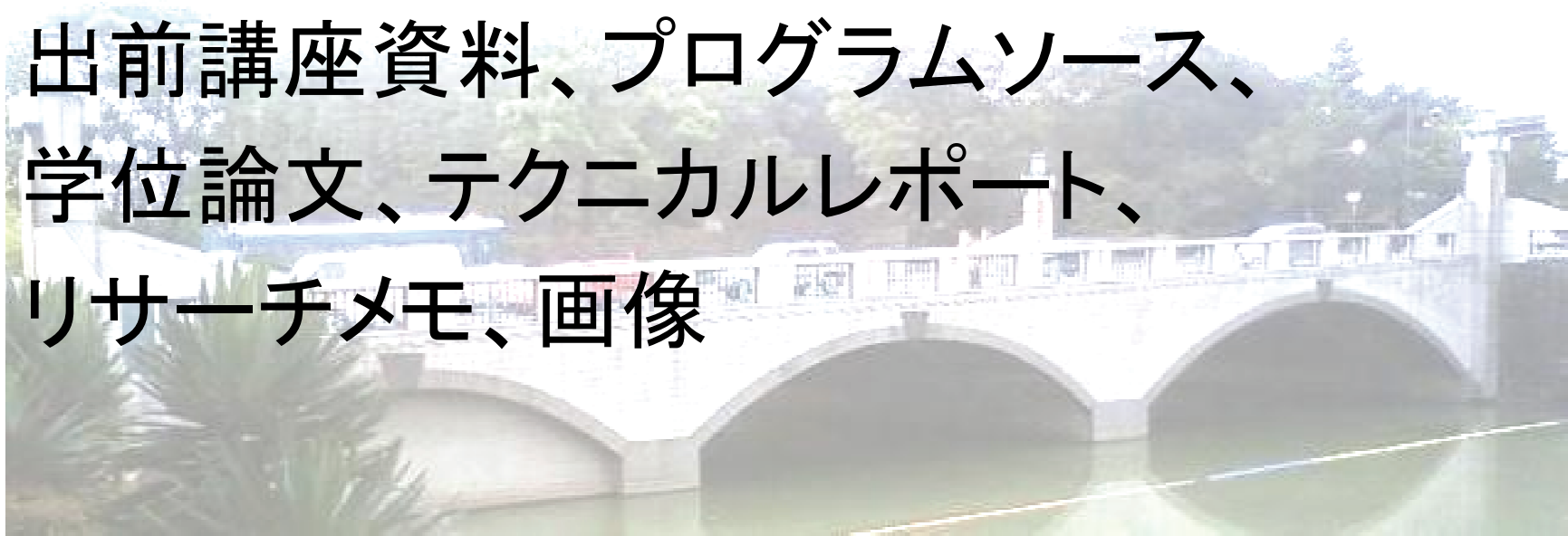
出典：<http://www.nii.ac.jp/irp/list/>



# IRコンテンツ

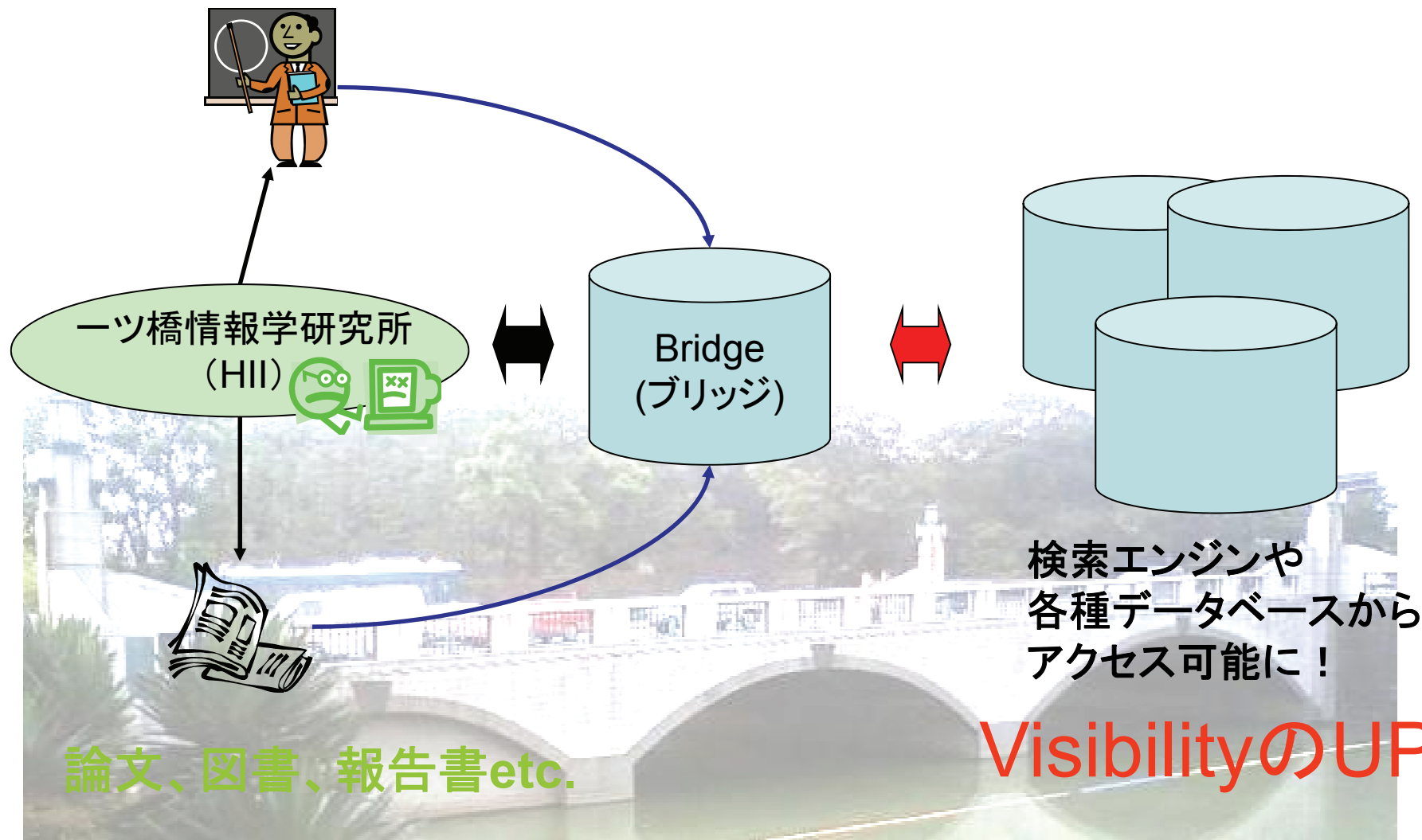
特長的なコンテンツ:

研修教材、オープンハウス資料、  
出前講座資料、プログラムソース、  
学位論文、テクニカルレポート、  
リサーチメモ、画像



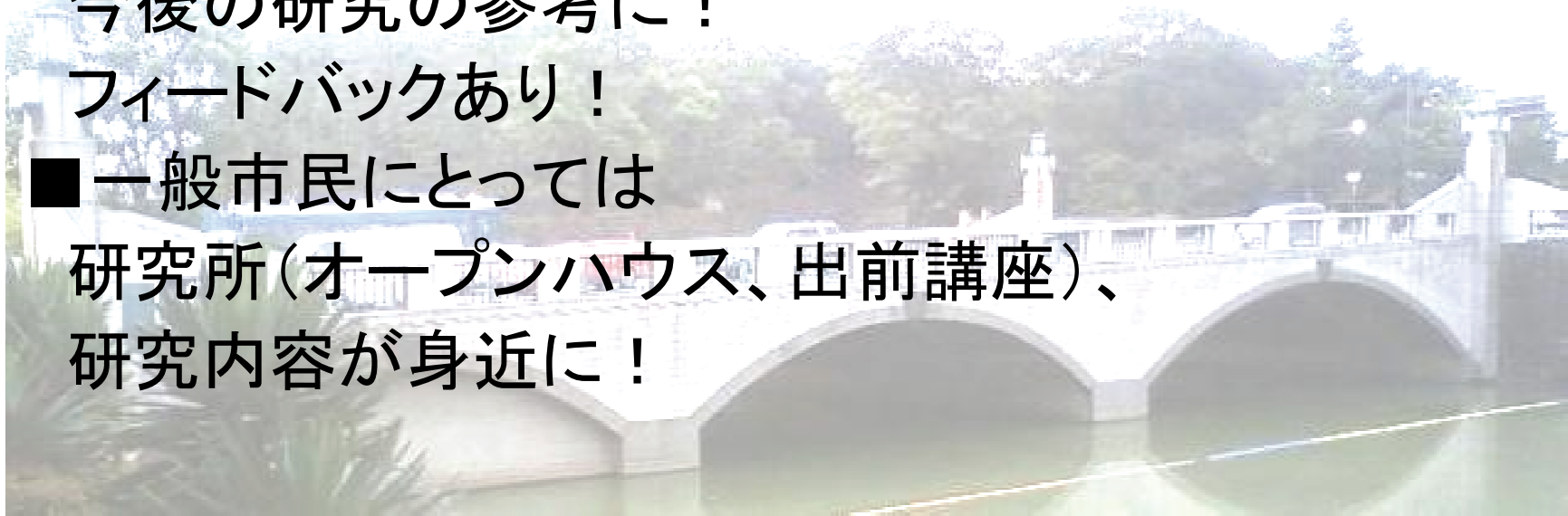
# 機関リポジトリによって期待される効果

学会発表、研修、講座etc.



# 構築のメリット

- 機関にとっては
  - マーケティング材料に！
  - 今後の研究所の運営方針決定に！
- 研究者にとっては
  - 今後の研究の参考に！
  - フィードバックあり！
- 一般市民にとっては
  - 研究所（オープンハウス、出前講座）、
  - 研究内容が身近に！





# 運営体制

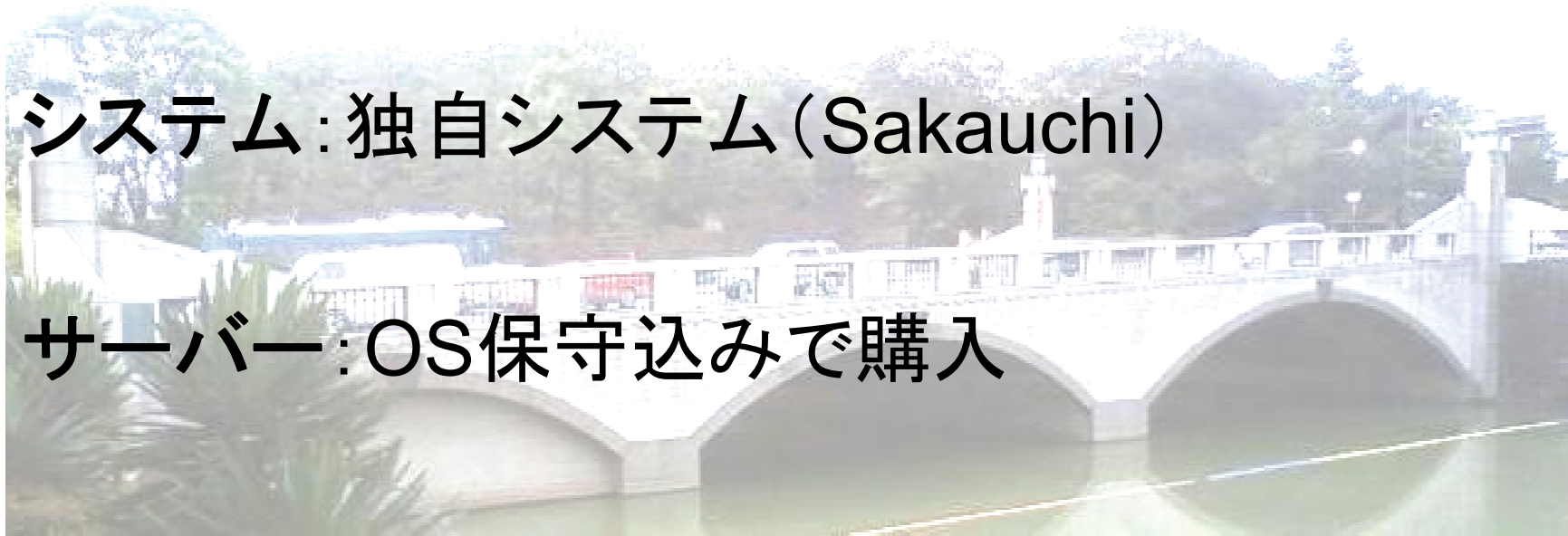
人員：図書館担当者2名

専門分野の研究者（〇〇先生ほか数名）

院生アシスタント

システム：独自システム（Sakauchi）

サーバー：OS保守込みで購入



# 初期予算

システム導入費(OS、5年保守込): 300万円

メタデータ作成費: 150万円

学位論文: 今年度修了生分(40件)

紀要: 5年分(4誌: 200件)

出前講座・研修・授業資料: 10年分(1200件)

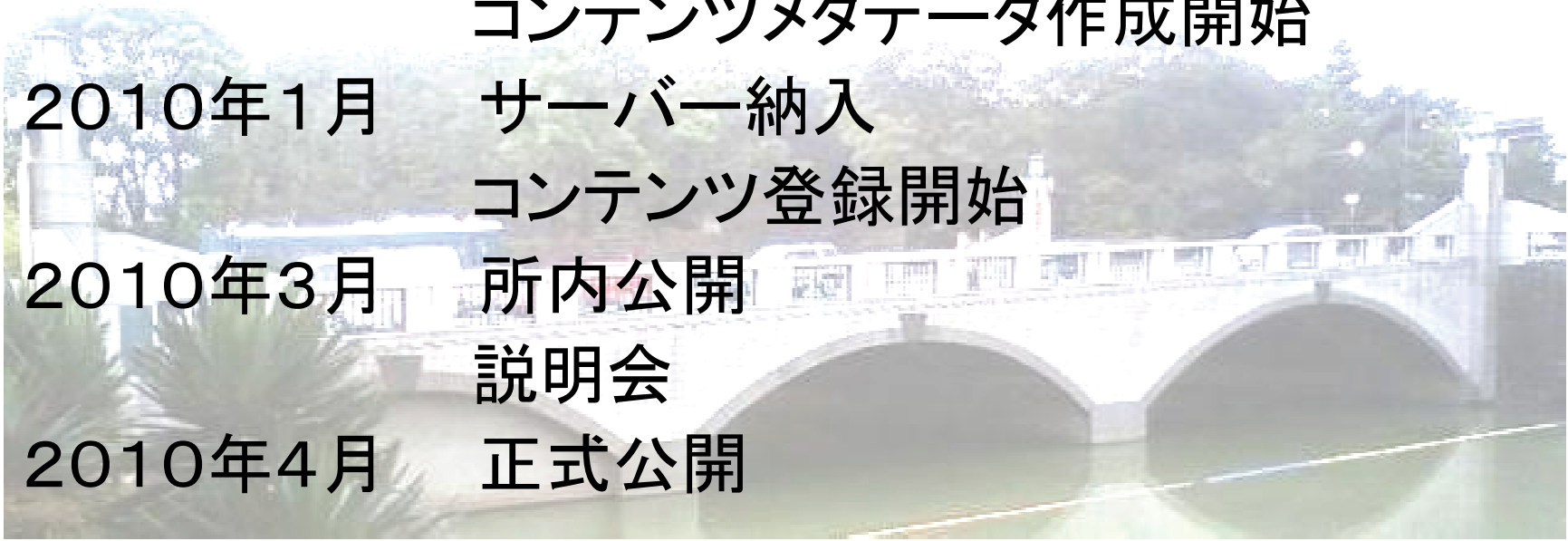
\* 著作権処理済

⇒ 1,500件で正式公開(外部出版論文含む)

広報費: 50万円

**計: 500万円**

# スケジュール

- 
- 2009年9月   メタデータの構成検討  
              デモ機での運用開始
  - 2009年10月   ヒアリング
  - 2009年11月   メタデータ構成決定  
              コンテンツメタデータ作成開始
  - 2010年1月   サーバー納入  
              コンテンツ登録開始
  - 2010年3月   所内公開  
              説明会
  - 2010年4月   正式公開

ご清聴ありがとうございました



「研究者・社会・情報をつなぐ」

---